

# H26 市外研修／中世の城郭訪問

瀧ノ城（所沢市城山）～アップダウンがきつかった

## 志木駅改札口...張りきって集合

予定時刻に元気な顔で参加者14名、志木駅改札口に集合。思い思いに年頭挨拶で大賑わい。予定より一列車前の電車に乗り込み、一路八王子市へ向かいました。武蔵野線から中央線への乗換えはうまくいったのですが、八王子駅からバスへの乗換えでハプニング。バスターミナルへの誘導がうまくいかない。催行者が行方不明だ！慌てました。地下道が憎いです。何とかバス停へ移動してバスに乗車。『ひよどりやまトンネル』を抜けるとそこは某女子大。左折して滝山街道を快走、滝山公園前で下車。帰りのバスの時刻表を確認して、滝山城へ攻め入りました。入口から急傾斜の山道を駆け（気分だけ）上がりました。キツカッタですが、三の丸、二の丸、中の丸へ。頂上付近は平坦でした。北側には、池もありました。戦国時代、ここで何をしたのでしょうか？戦いの訓練？中の丸から眺めた多摩川の長閑さには驚嘆。銀色のドームを見つけ、西武球場、狭山丘陵を確認しました。



編集の関係で、ちょっとぼやけてしまいました。ほんわかムードが出ていますでしょうか？左下の記念写真との違いがワカリマス～



みんなで記念写真におさまりました。いや、カメラマンさんが写っていませんでした。すみません

## いざ本丸へ 見慣れない名前の神社を発見

中の丸にてちょっと休憩。記念写真を撮影して、散策しながらいざ本丸へ移動。復元された引橋を渡り、案内説明板に見入り、発掘状況の読み、そんなに大きくない本丸跡に進入しました。国指定の史跡と記した石像物を発見して満足。跡地には、明治以来の戦没者を祀る神社がありました。霞神社という名前でした。神社の建立は、賛同者を集め、建設費が捻出できれば、誰でもできることを感じました。「～案内する会神社」も可能でしょうか？

## 廻国雑記に記された館は、柏の城だ！



若干の休憩後、思い思いの散策をして、西田さんからこの近くに「高月城」があったこと、私説として、七言絶句を交えながら、戦国時代の親子は、一族を絶やさないうために、父はより戦いの起りやすいところに居住するのが常であり、大石親子が滝山城と柏の城に分かれて住んでいたこと、「廻国雑記に記された館」が志木市の「柏の城」であることを強調されていました。西田さんありがとうございました。真田一族「犬伏の別れ」を思い出し、印象的でした。

## 引橋を下から見られず心残りだ

通行止めの看板が気になり、引橋の下の道が散策できず残念～。今回はボランティアからの説明や見どころの話しが聞けず、午後の山城訪問の関係もあり、参加者には不満が残ったかも知れません。私的なチャレンジとして、中世の武士になって空堀を駆けてみましたが、足がもつれるなど、攻め込むには多大なエネルギーが必要なことを感じた滝山城でした。



## 弁当持参の「まち歩き」初めてでした

家族の作ってくれた弁当を持参。コンビニで購入の弁当を持参。いろいろな形態でしたが、我が会で初めての取り組みでした。息の長い活動を続ける条件には、楽しく負担にならないことが要求されがちですが、共同生活者との思い出作りには、弁当持参が効果的でしょう。連続としないで「遠足気分」程度にとめたいもので～す。

## 瀧ノ城 山歩きがキツカッタ

バスに乗って滝山街道を移動し、八王子駅へ戻りました。岡田さんからの差し入れ饅頭を食べ、電車で一路、東所沢駅を目指しました。駅からは路線バスで目的地へ向かう予定でしたがハイクになってしまいました。行く先を知らずに歩くなどできないはずが、案内人を自称する新田さんの引率で、無事に瀧ノ城に到着。神明鳥居を潜り社務所前で保存会の方と挨拶を交わし、本丸にある城山神社へ移動。木造の社殿を見学し、馬出しの説明を受けました。昨年発掘した大井戸の様子や三富新田の人たちが水汲みにきた話、大手門からの道すがらの案内もされました。家屋の裏に残る立派な土塁を遠方から眺め、社務所内も案内していただきました。血の出る松の輪切り標本や障子堀の写真も見せてもらい、この地が氏子達の所有であったので今まで存続していた事、文化財を守ることの重要性が語られました。保存会の方へ感謝を述べ、バスで志木駅まで戻って散会となりました。瀧ノ城を発掘すればするほど、太田道灌が手掛けた城になりそうな話しが印象的でした。